

REINER KNIZIA PIRANHAS

Für 2-4 Spieler ab 8 Jahren



ゲーム概要と目的

全員一緒に！黄色…赤…青…ピラニア！魚カードを重ねていきます。しかし、同じ色の大きな魚が小さな魚を食べる様に置くことに注意してください。誰かがカードを置くと、違う色が必要になります。ピラニアが現れたら、ピラニアの色だけでなく全ての魚が食べられてしまいます。その後、新たに魚カードを重ねて行きます。最初にカードを全て無くしたプレイヤーが勝利します。

内容物

カード53枚（45魚カード、8ピラニアカード）

ゲームの準備

- 最近水に入ったプレイヤーがカード全てを良く混ぜます。1枚のカードをテーブル中央に裏向きに置き、スタートカードとします。その他のカードは、全員が同じ枚数になるように配りきります（3人プレイの場合には、1枚余るので箱にしまっておきます）。
- 各プレイヤーは、配られたカードを各自の裏向きの山札とします。
- 準備ができれば、カードを配ったプレイヤーが、「1、2、3、…ピラニア！」の合図でスタートカードを表向け、ゲームをスタートします。

ゲームプレイ

- 全員が同時にプレイします。手番順はありません。
- 各自は、自分の山札の一番上のカードを1枚めくり、手札とします。内容を確認し、テーブル中央の場に置かれたカードに重ねて置けるかどうかを判断します（「大きな魚が小さな魚を食べる」の項参照）。
- 場に出せるカードの場合、すぐに場のカードに重ねて置きます。新たに出されたカードが、新たな場のカードとなります。
- 場に出せないカードの場合、自分の捨て札置き場に表向きに捨てます。
- どちらの場合でも（場に出しても捨て札にしても）、自分の山札から新たな1枚をひき、手札とします。
- 場に出せないカードであった場合は、捨て札にしないで出せるまで待つことも可能です。
- 手札は1枚までしか持てません。場に出す事ができるのは手札のカードのみです。
- 捨て札置き場の一番上のカードが場に出せるカードであっても、出す事はできません。

大きな魚が小さな魚を食べる

- 魚には8色／4つの大きさがあります。
 - 魚カードを場に出すには、以下の2つの条件を満たす必要があります。
 - 1：どちらのカードにも、同じ色の魚がいる。
 - 2：同じ色の魚のうち、場のカードよりも場に出すカードの魚のほうが大きい。
- ヒント：魚の大きさを区別し易くするため、1番目と3番目に大きい魚は左を向いて描かれており、それ以外は右を向いて描かれています。

例：



最後のカードでは、青の代わりに紫と宣言することも可能です。

KOSMOS

ピラニア

ピラニアカードはどの魚カードの上にもプレイ可能です。場の魚カードに、ピラニアカードの魚の色が無くてもプレイできます。ピラニアカードをプレイする場合は、「ピラニア！」と宣言します。

例：



- ピラニアカードにピラニアカードを重ねて置くこともできます。この場合も「ピラニア！」と宣言します。
- ピラニアカードに魚カードを重ねて置く事もできます。この場合、置けるカードはピラニアカードに書かれた色の魚が描かれていないカードです。カードを置く時には「新鮮な魚！」と宣言します。

例：



山札の枯渇

山札が無くなったら、直ちに捨て札を裏返して新たな山札としてゲームを続けます。

勝者の決定

- 誰かが自分のカードを全て出し終わったら、そのプレイヤーが勝者となります。
- 誰もカードを出せない状態になった場合も、ゲームは終了します。この場合、残りのカード枚数を数え、最もカードが少ないプレイヤーが勝利します。同点の場合は、勝者が複数生まれます。

ヒント：3回ゲームを行い、残ったカードの枚数をマイナスポイントとして集計して勝者を決めることもできます。

お手つき！

- 混雑の中で、ルールに合致しないカードを出してしまうプレイヤーが現れる事があります。それに気付いたプレイヤーは「お手つき！」と宣言します。
- 直ちにゲームを一時中断し、各プレイヤーは手札を捨て札とします。その後、宣言されたカードが場に出せるカードかどうかをチェックします。
- 場に出せないカードだった場合は、そのカードと場のカード2枚の合計3枚をお手つきのプレイヤーが受け取り、捨て札置き場に置きます。
- お手つきの宣言が間違っていた場合、宣言したプレイヤーがそのカードと場のカードの合計3枚を受け取り、捨て札置き場に置きます。
- 最低1枚のカードは場に残さなければなりません。従って、パナルティ以下の枚数しか受け取れない場合もあります。
- その後、各自が同時に手札を補充し、ゲームを続けます。

訳者：COQ
The Board Game Laboratory



Der Autor

Reiner Knizia lebt seit vielen Jahren in Großbritannien, in Windsor. Der Doktor der Mathematik hat zahlreiche Spiele im In- und Ausland veröffentlicht und gehört weltweit zu den erfolgreichsten Spieleautoren. Bei Kosmos ist von ihm u. a. „Einfach Genial“ und „Keltis“ erschienen, das 2008 als „Spiel des Jahres“ ausgezeichnet wurde.

Redaktion: TM-Spiele
Illustration: Michael Menzel
Grafik: Michael Reibel/Tina Tuning
Art.-Nr.: 702015

Autor und Verlag danken allen Testspielern und Regellekern. Der Autor dankt Sebastian Blassdale für seine Beiträge zur Entwicklung dieses Spiels.

© 2015 KOSMOS Verlag
Pflanzstraße 9-7, D-70584 Stuttgart
Tel.: +49 (0) 7141 919-0
Fax: +49 (0) 7141 919-199
info@kosmos.de, kosmos.de

Alle Rechte vorbehalten.
MADE IN GERMANY

